



8.1 mod_auth_pgsql とは？

mod_auth_pgsql とは、PostgreSQL^{#1} に格納されたユーザーの認証情報を基に、Apache でのユーザー認証を可能にするモジュールで、以下の2つの機能を提供します。

- ・ 認証

データベースに格納されたユーザー名とパスワードの情報を基に認証を行う。
グループを作成することも可能である。

- ・ 認証の記録

行われた認証に関する情報をデータベースに記録する。

PostgreSQL は、完全にフリーな RDBMS (Relational DataBase Management System) で、BSD ライセンスによって配布されています。詳しくは、本家 PostgreSQL のページ^{#1} や、日本 PostgreSQL ユーザー会のページ^{#2}などを参照してください。

Apache でのユーザー認証にデータベースを用いることにより、複数の Web サーバで同じ認証を行う場合に、認証情報の一元管理が可能になります (図 8.1)。また、認証情報を高速に検索することが可能になりますから、認証情報を単なるファイルに格納している場合に比べ、非常に多くのユーザーに対して認証を行うことも可能になります。

例えば、(認証が行われる頻度にもよるが) 数万人程度のユーザーに対して認証を行うことも何ら問題なく実現できます。

mod_auth_pgsql に関する詳しい情報は、

#8.1 : PostgreSQL

<http://www.postgresql.org/>

#8.2 : 日本 PostgreSQL ユーザー会

<http://www.postgresql.jp/>